

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	西部消防署		No.	107
大分類	09行政系施設			
小分類	消防署			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	湯里

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済
『該当する』を 選択した理由	今後も維持していく必要あり。令和2年度に必要規模建替え済み。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
独自	利用開始							
	用途廃止・解体工事		解体工事					
評価が達成される年度		2023年度			←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	平成30年度より事業に着手し、用地取得、造成工事を実施。令和2年度末に新庁舎が移転新築した。		
第2期	2022年度	解体工事に向けてアスベスト調査を実施。	目標・取り組みを達成	2023年度に解体予定。
	2023年度	解体工事		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和48年
建物延面積	277.06 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	急傾斜地の崩壊警戒区域内に立地、特別警戒区域に隣接

関連条例等	大田市消防本部及び消防署の設置に関する条例
設置(目的等)	この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第10条第1項の規定に基づき、消防本部及び消防署の設置、名称及び位置並びに消防署の管轄区域について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	必要規模建替え済。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	三瓶出張所		No.	108
大分類	09行政系施設			
小分類	消防署			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	—	今後の策定予定の有無

担当部署名	消防部総務課
ブロック	三瓶
地区	志学

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済
『該当する』を 選択した理由	今後も維持していく必要あり。令和元年度に必要規模建替え済み。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
独自	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	2019年度に庁舎建て替え工事を完了した。		耐震性の強化や機能強化を図り、活動拠点施設として迅速で円滑な出動体制の確保ができた。
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和47年
建物延面積	180.39 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	旧耐震(基準未滿)
Is値	0.25
摘要欄	

関連条例等	大田市消防本部及び消防署の設置に関する条例
設置(目的等)	この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第10条第1項の規定に基づき、消防本部及び消防署の設置、名称及び位置並びに消防署の管轄区域について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	必要規模建替え済。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	朝山分団 2 班格納庫		No.	109	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	東部
地区	朝山

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当する	④統合
『該当する』を 選択した理由	第1班と統合、又は移転単独整備を含め必要規模建替えを検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)			
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降	
共通 項目	庁内関係部課協議									
	施設管理者との協議									
	施設利用者との協議									
	第三者委員会による検討	2022~2027年度 (R4年度~9年度) に統合又は移転単独整備を含め必要規模建替えを検討する。								
	市民・利用者への説明									
	方針決定									
	方針決定に基づく設計・整備等									
	関連計画の見直し									
利用開始										
用途廃止・解体工事										
独自										
評価が達成される年度		2027 年度			←塗りつぶし使用色					

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の見直し		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第1班と統合又は移転単独整備を含め必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和9年度までに統合又は移転単独整備を含め必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和56年
建物延面積	9.94 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	土石流警戒区域内に立地、急傾斜地の崩壊特別警戒区域に隣接

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	総合的に早急かつ最優先で必要規模での建替えが必要である。ただし、統合など機能集約の検討を行うこととする。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	波根分団 1 班格納庫		No.	110	
大分類	09行政系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画	計画期間	2045
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	東部
地区	波根

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。平成28年度、必要規模建替え済み。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2045年(令和 27年度)まで の計画期間外
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
利用開始									
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	2016年度建替え完了		予定どおり完了した。
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成30年
建物延面積	29.20 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	建替え整備済み。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	波根分団2班格納庫		No.	111	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	東部
地区	波根

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	現地建替えを含め、建設地を検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)			
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降	
共通 項目	庁内関係部課協議									
	施設管理者との協議									
	施設利用者との協議									
	第三者委員会による検討	2022~2027年度 (R4年度~9年度) に建設地 (現地含む) を含めた必要規模建替えを検討する。								
	市民・利用者への説明									
	方針決定									
	方針決定に基づく設計・整備等									
	関連計画の見直し									
利用開始										
用途廃止・解体工事										
独自										
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色					

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の見直し		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	建設地（現地含む）を含めた必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和9年度までに建設地（現地含む）を含めた必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和56年
建物延面積	16.10 m ²
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	総合的に早急かつ最優先で必要規模での建替えが必要である。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	五十猛分団2班格納庫			No.	112	担当部署名	消防部総務課	
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	西部
地区	五十猛

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当する	④統合
『該当する』を 選択した理由	第4班と統合、建設地を含め必要規模建替えを検討している。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)			
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降	
共通 項目	庁内関係部課協議									
	施設管理者との協議									
	施設利用者との協議									
	第三者委員会による検討	2022~2027年度 (R4年度~9年度) に4班と統合し、建設地を含め必要規模建替えを検討している。								
	市民・利用者への説明									
	方針決定									
	方針決定に基づく設計・整備等									
	関連計画の見直し									
利用開始										
用途廃止・解体工事										
独自										
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色					

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の見直し		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	4班と統合し、建設地を含め必要規模建替えを検討している。
	2023年度	個別計画の見直し 令和9年度までに4班と統合し、建設地を含め必要規模建替えを検討している。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和60年
建物延面積	11.66 m ²
構造	コンクリートブロック造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	イエロー 土石流警戒区域に隣接

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	統合しての整備が必要である。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	五十猛分団4班格納庫			No.	113	担当部署名	消防部総務課	
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第2班と統合し、第4班の廃止を検討している。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)						
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降				
共通項目	庁内関係部課協議												
	施設管理者との協議												
	施設利用者との協議												
	第三者委員会による検討	2022~2027年度 (R4年度~9年度) に第2班と統合し、第4班の廃止を検討する。											
	市民・利用者への説明												
	方針決定												
	方針決定に基づく設計・整備等												
	関連計画の見直し												
	利用開始												
用途廃止・解体工事													
独自													
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色								

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第2班と統合し、第4班の廃止を検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和9年度までに第2班と統合し、第4班の廃止を検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和55年
建物延面積	12.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	イエロー

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	統合し廃止する。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	旧大屋分団1班格納庫（大屋防災資機材庫）			No.	114			
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	消防部総務課
ブロック	中央
地区	大屋

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	大屋分団の資器材庫として使用しているが、今後解体撤去、譲渡等を検討している。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議	2022~2027年度（R4年度~9年度）に廃止（解体撤去、譲渡等）を検討する。							
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
利用開始									
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	解体撤去、譲渡等について大屋分団との協議が必要である。
	2023年度	個別計画の見直し		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和53年
建物延面積	17.52 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	格納庫へ機能を集約し解体撤去、民間譲渡等とする。

【施設の写真】

※写真無し

(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	旧大代分団1班格納庫		No.	115	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	経年劣化により、建物の部材に一部腐食が認められ危険である。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議	2022~2027年度 (R4年度~9年度) に廃止 (解体撤去) を検討する。							
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
利用開始									
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	解体撤去に向け地権者等に協議が必要である。
	2023年度	個別計画の見直し		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和60年
建物延面積	62.20 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	総合的に早急かつ最優先で地権者と協議し、地下防火水槽のあり方について検討する。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	温泉津分団2・3班格納庫		No.	116
大分類	09行政系施設			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	老朽化により建て替えが必要であるが、津波浸水区域であり建設地（現地含む）について検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)			
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降	
共通 項目	庁内関係部課協議									
	施設管理者との協議									
	施設利用者との協議									
	第三者委員会による検討	2022~2027年度（R4年度~9年度）に建設地（現地含む）を含む必要規模建替えを検討する。								
	市民・利用者への説明									
	方針決定									
	方針決定に基づく設計・整備等									
	関連計画の見直し									
利用開始										
用途廃止・解体工事										
独自										
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色					

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	現地建替え、移転単独整備を検討。 庇の爆裂により、緊急修繕実施。
	2023年度	昨年度に緊急修繕を実施した。 早急な移転新築を検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和50年
建物延面積	74.40 m ²
構造	コンクリートブロック造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	浸水地域

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	総合的に早急かつ最優先で必要規模での建替えが必要である。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	温泉津分団4班格納庫		No.	117	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として継続する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議	2022~2027年度 (R4年度~9年度) に現地にて、必要規模建替えを検討する。							
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
利用開始									
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		現地建替えを検討している。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	現地調査実施。 市の関係部局と協議実施。
	2023年度	個別計画の見直し		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和50年
建物延面積	74.40 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	イエロー

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	総合的に早急かつ最優先で必要規模での建替えが必要である。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	福波分団2班格納庫		No.	118
大分類	09行政系施設			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。令和4年度、必要規模建替え済み							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議	移転単独整備 済み							
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事		解体工事							
独自									
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成		市有地を確保し移転新築の方針決定した。
第2期	2022年度	新築移転工事実施	目標・取り組みを達成	新築移転済み
	2023年度	旧格納庫、解体工事		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和49年
建物延面積	37.20 m ²
構造	コンクリートブロック造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	総合的に早急かつ最優先で必要規模での建替えが必要である。防火水槽が地下にあり、移転単独整備について検討する。

【施設の写真】

※写真無し

(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	長久水防倉庫		No.	119	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止 済
『該当する』を 選択した理由	解体撤去済み							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	用途廃止・解体工事	目標・取り組みを達成	用途廃止、解体撤去実施。
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和53年
建物延面積	17.52 m ²
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	消防庁舎へ機能を集約し解体撤去とする。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田市消防本部・大田消防署		No.	264
大分類	09行政系施設			
小分類	消防署			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無

担当部署名	消防部総務課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済
『該当する』を 選択した理由	消防防災拠点施設であり今後も維持する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
独自	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成26年
建物延面積	3,225.58 m ²
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市消防本部及び消防署の設置に関する条例
設置(目的等)	各種災害から市民の生命、身体及び財産を守ることを目的として設置
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田分団 1 班格納庫		No.	265	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	地域の実情を踏まえ、第3班と統合、建設地を含め必要規模建替えを検討している。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2036 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の見直し		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第3班と統合、建設地を含め必要規模建替えを検討している。
	2023年度	個別計画の見直し 令和14年度～令和18年度に第3班と統合、建設地を含め必要規模建替えを検討している。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成4年
建物延面積	16.38 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田分団 2 班格納庫		No.	266	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2045 年度			←塗りつぶし使用色				

2042~2045年度
(R24~R27年)に現
地にて必要規模建替
えを行う。

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	令和24年度～令和27年度に現地にて必要規模建替えを行う。
	2023年度	個別計画の見直し 令和24年度～令和27年度に現地にて必要規模建替えを行う。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成14年
建物延面積	28.56 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田分団3班格納庫		No.	267	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	地域の実情を踏まえ、今後第1班と統合し、第3班は廃止を検討している。第1班整備時に併せて検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2041年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第1班と統合し、第3班と廃止を検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和19年度～令和23年度に1班と統合し、3班の廃止を検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成6年
建物延面積	15.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	川合分団 1 班格納庫・水防倉庫		No.	268	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設				ブロック	中央		
小分類	その他				地区	川合		
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第3班と統合し、現地にて必要規模建替えを検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2041 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	3班と統合し、現地にて必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和19年度～令和23年度に3班と統合、現地にて必要規模建替えを行う。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成10年
建物延面積	43.20 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	イエロー

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	川合分団 2 班格納庫		No.	269	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	中央
地区	川合

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

2045年(令和27年度)までの
計画期間外

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	平成29年度、必要規模建替え済		計画どおり完了した。
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成30年
建物延面積	10.12 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	川合分団3班格納庫		No.	270	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第1班と統合し、第3班は廃止を検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2036年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第1班と統合し、第3班は廃止を検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和14年度～令和18年度に第1班と統合、第3班は廃止を検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成5年
建物延面積	15.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	池田分団 1 班格納庫		No.	271	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	三瓶
地区	池田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2045 年度			←塗りつぶし使用色				

2042~2045年度 (R24~R27年) に必要規模
建替え (現地) 検討する。

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	現地建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和24年度～令和27年度に必要規模建替え（現地）を検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成14年
建物延面積	28.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	池田分団 2 班格納庫		No.	272	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	三瓶
地区	池田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2036 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	現地建替え又は移転単独整備を検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和14年度～令和18年度に必要規模建替え（現地又は移転単独整備）を検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和60年
建物延面積	15.35 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	志学分団 1 班格納庫		No.	273
大分類	09行政系施設			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	消防部総務課
ブロック	三瓶
地区	志学

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第2班と統合し、建設地（現地含む）を含め必要規模建替えを検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	評価が達成される年度	2045 年度			←塗りつぶし使用色				

2042～2045年度（R24～R27年）に2班と統合し、建設地（現地含む）を含めた、必要規模建替えを検討する。

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第2班と統合し、建設地（現地含む）を含めた必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和24年度～令和27年度に第2班と統合し、建設地（現地含む）を含めた必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成8年
建物延面積	21.60 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	志学分団 2 班格納庫		No.	274
大分類	09行政系施設			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	消防部総務課
ブロック	三瓶
地区	志学

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第1班と統合し、第2班は廃止を検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2045 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第1班と統合し、第2班は廃止を検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和24年度～令和27年度に第2班と統合し、建設地（現地含む）を含めた必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成17年
建物延面積	13.50 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	山口分団 1 班格納庫		No.	275
大分類	09行政系施設			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	消防部総務課
ブロック	三瓶
地区	山口

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第2班と統合又は現地にて必要規模建替えを検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							2045年(令和27年度)までの 計画期間外
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
利用開始								
用途廃止・解体工事								
独自								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	平成19年度、必要規模建替え済		計画どおり完了した。
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成19年
建物延面積	26.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	山口分団 2 班格納庫		No.	276	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	三瓶
地区	山口

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第1班と統合又は移転単独整備を含め必要規模建替えを検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2041 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第1班と統合又は移転単独整備を検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和19年度～令和23年度に第1班と統合又は移転単独整備を含め必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成6年
建物延面積	16.20 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	イエロー

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	多根分団 1 班格納庫		No.	277			
大分類	09行政系施設						
小分類	その他						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画	計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	三瓶
地区	多根

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第2班と統合し、現地にて必要規模建替えを検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2041 年度			←塗りつぶし使用色				

2037~2041年度 (R19~R23年)
に2班と統合、現地にて必要規模建
替えを検討する。

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第2班と統合、現地にて必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和19年度～令和23年度に第2班と統合、現地にて必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成7年
建物延面積	21.60 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	多根分団 2 班格納庫		No.	278	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	三瓶
地区	多根

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第1班と統合し、第2班は廃止を検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2036 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第1班と統合、第2班は廃止を検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和14年度～令和18年度に第1班と統合、第2班は廃止を検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成2年
建物延面積	16.38 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	富山分団 1 班格納庫		No.	279	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	東部
地区	富山

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第2、3班と統合し、建設地（現地含む）を含め必要規模建替えを検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2041 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第2・3班と統合、建設地（現地含む）を含め、必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和19年度～令和23年度に第2,3班と統合、建設地（現地含め）を含め、必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成9年
建物延面積	21.60 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	朝山分団 1 班格納庫		No.	280	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	東部
地区	朝山

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第2班と統合し、建設地（現地含む）を含め必要規模建替えを検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)			
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降	
共通 項目	庁内関係部課協議									
	施設管理者との協議									
	施設利用者との協議									
	第三者委員会による検討	2022~2027年度（R4年度~9年度）に統合又は移転単独整備を含め必要規模建替えを検討する。								
	市民・利用者への説明									
	方針決定									
	方針決定に基づく設計・整備等									
	関連計画の見直し									
利用開始										
用途廃止・解体工事										
独自										
評価が達成される年度		2027 年度			←塗りつぶし使用色					

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第2班と統合又、現地での必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和9年度までに第2班と統合又は、現地での必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和63年
建物延面積	15.65 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	久手分団 1 班格納庫		No.	281	
大分類	09行政系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画	計画期間	2045
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	東部
地区	久手

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。平成19年度、必要規模建替え済み。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議							2045年(令和27年度)までの 計画期間外	
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
利用開始									
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	平成19年度、必要規模建替え済		計画どおり完了した。
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成21年
建物延面積	41.06 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	久手分団 2 班格納庫		No.	282	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	東部
地区	久手

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2036 年度			←塗りつぶし使用色				

2032~2036年度 (R14~R18年)
に、現地での必要規模建替えを検討
する。

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	現地での必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和14年度～令和18年度に、現地での必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成4年
建物延面積	16.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	久手分団3班格納庫		No.	283	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	東部
地区	久手

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2045年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	現地での必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和24年度～令和27年度に、現地での必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成17年
建物延面積	14.85 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	久手分団 4 班格納庫		No.	284
大分類	09行政系施設			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	消防部総務課
ブロック	東部
地区	久手

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議							2045年(令和27年度)までの 計画期間外	
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
利用開始									
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	平成18年度、必要規模建替え済		計画どおり完了した。
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成18年
建物延面積	15.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	鳥井分団 1 班格納庫		No.	285	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	西部
地区	鳥井

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2045 年度			←塗りつぶし使用色				

2042~2045年度 (R24~R27年)
に、現地での必要規模建替えを検討
する。

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	現地での必要規模建替えを検討する。
第2期	2023年度	個別計画の見直し 令和24年度～令和27年度に、現地での必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成12年
建物延面積	15.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	鳥井分団 2 班格納庫		No.	286
大分類	09行政系施設			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	消防部総務課
ブロック	西部
地区	鳥井

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議							2045年(令和27年度)までの 計画期間外	
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
利用開始									
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	平成30年度、必要規模建替え済		計画どおり完了した。
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成30年
建物延面積	15.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	長久分団 1 班格納庫		No.	287
大分類	09行政系施設			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	消防部総務課
ブロック	西部
地区	長久

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議							2045年(令和27年度)までの 計画期間外	
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
利用開始									
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	平成18年度、必要規模建替え済		計画どおり完了した。
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成18年
建物延面積	15.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	長久分団 2 班格納庫		No.	288	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	西部
地区	長久

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2045 年度			←塗りつぶし使用色				

2042~2045年度 (R24~R27年)
に、現地での必要規模建替えを検討
する。

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	現地での必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和24年度～令和27年度に、現地での必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成16年
建物延面積	14.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	浸水地域

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	長久分団3班格納庫			No.	289
大分類	09行政系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	西部
地区	長久

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議							2045年(令和27年度)までの 計画期間外	
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
利用開始									
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	平成18年度、必要規模建替え済		計画どおり完了した。
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成19年
建物延面積	28.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	静岡分団 1 班格納庫・水防倉庫			No.	290			
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	消防部総務課
ブロック	西部
地区	静岡

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2045 年度			←塗りつぶし使用色				

2042~2045年度 (R24~R27年)
に、現地での必要規模建替えを検討
する。

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	現地での必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和24年度～令和27年度に、現地での必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成15年
建物延面積	48.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	静岡分団 2 班格納庫		No.	291	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	西部
地区	静岡

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2045 年度			←塗りつぶし使用色				

2042~2045年度 (R24~R27年)
に、現地での必要規模建替えを検討
する。

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	現地での必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和24年度～令和27年度に、現地での必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成16年
建物延面積	12.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	浸水地域

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	静岡分団 3 班格納庫			No.	292			
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	消防部総務課
ブロック	西部
地区	静岡

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2045 年度			←塗りつぶし使用色				

2042~2045年度 (R24~R27年)
に、現地での必要規模建替えを検討
する。

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	現地での必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和24年度～令和27年度に、現地での必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成12年
建物延面積	15.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	五十猛分団 1 班格納庫			No.	293	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設								
小分類	その他								
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称							
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年	
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由				

担当部署名	消防部総務課
ブロック	西部
地区	五十猛

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第3班と統合、現地にて必要規模建替えを検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2045 年度			←塗りつぶし使用色				

2042~2045年度 (R24~R27年)
に、現地での必要規模建替えを検討
する。

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	現地での必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和24年度～令和27年度に、第3班と統合、現地での必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成16年
建物延面積	28.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	イエロー

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	五十猛分団 3 班格納庫		No.	294	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	西部
地区	五十猛

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第1班と統合、第3班は廃止を検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
利用開始									
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2045 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	令和24年度～令和27年度に、第1班と統合、第3班は廃止を検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和24年度～令和27年度に、第1班と統合、第3班は廃止を検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成13年
建物延面積	15.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大屋分団1班格納庫		No.	295	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	中央
地区	大屋

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第2班と統合、現地にて必要規模建替えを検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2045年度			←塗りつぶし使用色				

2042~2045年度 (R24~R27年)
に、第2班と統合、現地にて必要規模建替えを検討する。

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第2班と統合、現地にて必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和24年度～令和27年度に、第2班と統合、現地での必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成15年
建物延面積	28.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大屋分団 2 班格納庫		No.	296	担当部署名	消防部総務課	
大分類	09行政系施設				ブロック	中央	
小分類	その他				地区	大屋	
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第1班と統合、又は現地にて必要規模建替えを検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
利用開始									
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2036 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第1班と統合又は現地での必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和14年度～令和18年度に、第1班と統合、又は現地での必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成2年
建物延面積	16.38 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	久利分団 1 班格納庫		No.	297	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	中央
地区	久利

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2045 年度			←塗りつぶし使用色				

2042~2045年度 (R24~R27年)
に、現地にて必要規模建替えを検討
する。

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	現地での必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和24年度～令和27年度に、現地での必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成8年
建物延面積	21.60 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	久利分団 2 班格納庫		No.	298	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	中央
地区	久利

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							2045年(令和27年度)までの 計画期間外
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
利用開始								
用途廃止・解体工事								
独自								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	平成19年度、必要規模建替え済		計画どおり完了した。
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成19年
建物延面積	13.50 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大森分団1・2班格納庫		No.	299	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	高山
地区	大森

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2036年度			←塗りつぶし使用色				

2032~2036年度 (R14~R18年)
に、現地にて必要規模建替えを検討
する。

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	現地での必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和14年度～令和18年度に、現地での必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成3年
建物延面積	17.46 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	イエロー

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	水上分団 1 班格納庫		No.	300	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	高山
地区	水上

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2045 年度			←塗りつぶし使用色				

2042~2045年度 (R24~R27年)
に、現地にて必要規模建替えを検討
する。

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	現地での必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和24年度～令和27年度に、現地での必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成17年
建物延面積	14.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	イエロー

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	水上分団 2 班格納庫		No.	301	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	高山
地区	水上

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2041 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	現地での必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和19年度～令和23年度に、現地での必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成8年
建物延面積	15.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	イエロー

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	祖式分団 1 班格納庫		No.	302	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	高山
地区	祖式

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第2班と統合、建設地（現地含む）を含め必要規模建替えを検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2036 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第2班と統合または建設地（現地含む）を含め必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和14年度～令和18年度に、第2班と統合、建設地（現地含む）を含め必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成3年
建物延面積	27.30 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
ls値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	祖式分団 2 班格納庫		No.	303	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	高山
地区	祖式

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第1班と統合、第2班は廃止を検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2036 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第1班と統合、第2班は廃止を検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和14年度～令和18年度に、第1班と統合、第2班は廃止を検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成4年
建物延面積	22.75 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	イエロー

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大代分団 1 班格納庫		No.	304	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	高山
地区	大代

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第2班と統合,又は現地にて必要規模建替えを検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	評価が達成される年度	2045 年度			←塗りつぶし使用色				

2042~2045年度 (R24~R27年)
に、第2班と統合又は現地にて必要
規模建替えを検討する。

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第2班と統合又は現地にて必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和24年度～令和27年度に、第2班と統合,又は現地にて必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成14年
建物延面積	28.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大代分団 2 班格納庫		No.	305	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	高山
地区	大代

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第1班と統合、第2班は廃止を検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)			
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降	
共通 項目	庁内関係部課協議									
	施設管理者との協議									
	施設利用者との協議									
	第三者委員会による検討	2022~2027年度 (R4~R9年) に、第1班と統合、第2班は廃止を検討する。実施期間の調整要す。								
	市民・利用者への説明									
	方針決定									
	方針決定に基づく設計・整備等									
	関連計画の見直し									
利用開始										
用途廃止・解体工事										
独自										
評価が達成される年度		2027 年度			←塗りつぶし使用色					

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第1班と統合、第2班は廃止を検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和4年度～令和9年度に、第1班と統合、第2班は廃止を検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和61年
建物延面積	12.42 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大代分団3班格納庫		No.	306	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	高山
地区	大代

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第4班と統合、第3班は廃止を検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)			
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降	
共通 項目	庁内関係部課協議									
	施設管理者との協議									
	施設利用者との協議	2022~2027年度 (R4~R9年) に、第4班と統合、第3班は廃止を検討する。								
	第三者委員会による検討									
	市民・利用者への説明									
	方針決定									
	方針決定に基づく設計・整備等									
	関連計画の見直し									
利用開始										
用途廃止・解体工事										
独自										
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色					

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第4班と統合、第3班は廃止を検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和9年度までに、第4班と統合、第3班は廃止を検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和62年
建物延面積	14.56 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大代分団 4 班格納庫		No.	307	担当部署名	消防部総務課	
大分類	09行政系施設						
小分類	その他						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由		

担当部署名	消防部総務課
ブロック	高山
地区	大代

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第4班と統合、第3班は廃止を検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討	2022~2027年度 (R4~R9年) に、第3班と統合、第3班は廃止を検討する。							
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
利用開始									
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2027 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第4班と統合、第3班は廃止を検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和9年度までに、第4班と統合、第3班は廃止を検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成4年
建物延面積	14.56 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	温泉津分団 1 班格納庫		No.	308	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議							2045年(令和27年度)までの 計画期間外	
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
利用開始									
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	平成26年度、必要規模建替え済		計画どおり完了した。
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成27年
建物延面積	26.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	レッド

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	湯里分団 1 班格納庫		No.	309	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	湯里

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							2032~2036年度 (R14~R18年) に、移転単独整備、必要規模建替え を検討する。
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
利用開始								
用途廃止・解体工事								
独自								
評価が達成される年度		2036 年度			←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	移転単独整備、必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和14年度～令和18年度に、移転単独整備、必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成4年
建物延面積	30.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	浸水地域

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	湯里分団 2 班格納庫・水防倉庫		No.	310	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	湯里

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。現地建替え。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2041 年度			←塗りつぶし使用色				

2037~2041年度 (R19~R23年)
に、現地にて必要規模建替えを検討
する。

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	現地にて、必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和19年度～令和23年度に、現地にて必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和60年
建物延面積	40.57 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	イエロー

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	湯里分団3班格納庫		No.	311	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	湯里

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第4班と統合又は、建設地を含め必要規模建替えを検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	評価が達成される年度	2036年度			←塗りつぶし使用色				

2032~2036年度 (R14~R18年)に、第4班と統合、建設地(現地含む)を含め必要規模建替えを検討する。

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第4班と統合、建設地を含め必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和14年度～令和18年度に、第4班と統合、建設地を含め必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成5年
建物延面積	30.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	湯里分団4班格納庫		No.	312	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	湯里

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第3班と統合、第4班は廃止を含め検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2036年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第3班と統合、第4班は廃止を含め検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和14年度～令和18年度に、第3班と統合、第4班は廃止を含め検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和63年
建物延面積	45.68 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	イエロー

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	井田分団 1 班格納庫		No.	313	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	井田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。現地建替え。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2036 年度			←塗りつぶし使用色				

2032~2036年度 (R14~R18年)
に、現地にて必要規模建替えを検討
する。

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	現地にて必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和14年度～令和18年度に、現地にて必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成2年
建物延面積	28.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	井田分団 2 班格納庫		No.	314	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	井田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第3班と統合、又は必要規模建替えについて建設地を含め検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2036 年度			←塗りつぶし使用色				

2032~2036年度 (R14~R18年)
に、第3班と統合、建設地(現地含
む)を含め必要規模建替えを検討す
る。

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第3班と統合、建設地を含め必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和18年度までに、第3班と統合、建設地を含め必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成4年
建物延面積	31.11 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	井田分団3班格納庫		No.	315	担当部署名	消防部総務課	
大分類	09行政系施設						
小分類	その他						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由		

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	井田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第2班と統合、第3班は廃止を含め検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2036年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第2班と統合、第3班は廃止を含め検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和14年度～令和18年度に、第2班と統合、第3班は廃止を含め検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成4年
建物延面積	30.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	井田分団 4 班格納庫		No.	316	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	井田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第5班と統合又は、建設地を含め必要規模建替えを検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2041 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第5班と統合、建設地を含め必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和19年度～令和23年度に、第5班と統合、建設地を含め必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成7年
建物延面積	42.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	井田分団5班格納庫		No.	317
大分類	09行政系施設			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	井田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第4班と統合、若しくは廃止を含め検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	評価が達成される年度	2036年度			←塗りつぶし使用色				

2032~2036年度 (R14~R18年)
に、第4班と統合、建設地(現地含む)
を含め必要規模建替えを検討する。

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第4班と統合、若しくは廃止を含め検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和14年度～令和18年度に、第4班と統合、第5班は廃止を含め検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和63年
建物延面積	24.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	福波分団 1 班格納庫		No.	318	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	福波

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議							2045年(令和27年度)までの 計画期間外	
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
利用開始									
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	平成25年度、必要規模建替え済		計画どおり完了した。
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成25年
建物延面積	46.57 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	浸水地域

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	福波分団3班格納庫			No.	319			
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	福波

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第4班と統合、第3班は廃止を含め検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討	2022~2027年度 (R4~R9年) に、第4班と統合、第3班は廃止を含め検討する。							
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
利用開始									
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第4班と統合、第3班は廃止を含め検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和9年度までに、第4班と統合、第3班は廃止を含め検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成17年
建物延面積	26.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	福波分団 4 班格納庫		No.	320	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	福波

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第3班と統合又は、建設地を含め必要規模建替えを検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議	2022~2027年度 (R4~R9年) に、第3班と統合、建設地 (現地含む) を含め必要規模建替えを検討する。							
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
利用開始									
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2027 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第3班と統合、建設地を含め必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和9年度までに、第3班と統合、建設地を含め必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和60年
建物延面積	25.42 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	イエロー

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	仁万分団3班格納庫		No.	321
大分類	09行政系施設			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	消防部総務課
ブロック	仁摩
地区	仁万

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							2045年(令和27年度)までの 計画期間外
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
独自	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
評価が達成される年度		年度						

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	平成23年度、必要規模建替え済		計画どおり完了した。
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成24年
建物延面積	13.50 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	宅野分団 1・2・3 班格納庫		No.	322	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	仁摩
地区	宅野

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議	2022~2027年度 (R4~R9年) に、現地にて必要規模建替えを検討する。							
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
利用開始									
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2027 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	現地にて必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和9年度までに、現地にて必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和59年
建物延面積	35.00 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大分県分団1・3班格納庫		No.	323	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	仁摩
地区	大分

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議							2045年(令和27年度)までの 計画期間外	
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	平成21年度、必要規模建替え済		計画どおり完了した。
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成22年
建物延面積	60.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大分県分団 2 班格納庫		No.	324	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	仁摩
地区	大分

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討	2022~2027年度 (R4~R9年) に、現地にて必要規模建替えを検討する。							
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
利用開始									
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2027 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	現地にて必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和9年度までに、現地にて必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和59年
建物延面積	19.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	馬路分団 1 班格納庫		No.	325	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	仁摩
地区	馬路

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第3班と統合又は、建設地を含め必要規模建替えを検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2041 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第3班と統合、建設地を含め必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和23年度までに、第3班と統合、建設地を含め必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成6年
建物延面積	19.37 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	馬路分団 2 班格納庫		No.	326	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	仁摩
地区	馬路

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	他班との統合、又は建設地（現地含め）を含め必要規模建替えを検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)			
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降	
共通 項目	庁内関係部課協議									
	施設管理者との協議									
	施設利用者との協議									
	第三者委員会による検討									
	市民・利用者への説明									
	方針決定	2022~2027年度（R4~R9年）に、他班と統合、又は建設地（現地含む）を含め必要規模建 替えを検討する。								
	方針決定に基づく設計・整備等									
	関連計画の見直し									
利用開始										
独自	用途廃止・解体工事									
評価が達成される年度		2027 年度			←塗りつぶし使用色					

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	他班と統合、又は建設地を含め必要規模建替えを検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和4年度～令和9年度に、他班と統合、建設地を含め必要規模建替えを検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成4年
建物延面積	21.98 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	馬路分団3班格納庫		No.	327	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	仁摩
地区	馬路

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	第1班と統合、第3班は廃止を含め検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2041年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	第1班と統合、第3班は廃止を含め検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和19年度～令和23年度に、第1班と統合、第3班は廃止を含め検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成7年
建物延面積	14.35 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田水防倉庫		No.	328	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	解体撤去。消防庁舎へ機能集約を検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2036年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	消防庁舎へ機能集約し廃止を検討する。
第2期	2023年度	個別計画の見直し 令和14年度～令和18年度に、消防庁舎へ機能集約し廃止を検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成5年
建物延面積	26.49 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】

※写真無し

(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	久利水防倉庫		No.	329	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設配置適正化実施計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	中央
地区	久利

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	1班整備時に、あり方について検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2036年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2022年度	個別計画の見直し	目標・取り組みを達成	あり方について検討する。
	2023年度	個別計画の見直し 令和14年度～令和18年度に、あり方について検討する。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成2年
建物延面積	19.87 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	林野火災資機材倉庫		No.	330
大分類	09行政系施設			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	計画期間	
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無

担当部署名	消防部総務課
ブロック	三瓶
地区	志学

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済
『該当する』を 選択した理由	必要規模建替え済み							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	2019年度に庁舎建て替え工事を完了した。		予定どおり完了した。
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成2年
建物延面積	86.00 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	久手地区防災資機材地域備蓄施設		No.	331	担当部署名	消防部総務課	
大分類	09行政系施設						
小分類	その他						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名			計画期間		
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由	地域移管 済
					改定・見直し 時期		

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	③地域移管 済
『該当する』を 選択した理由	用途廃止し、久手原口自治会へ払下げ済み。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況		予定どおり完了した。
第2期	2022年度		
	2023年度		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成7年
建物延面積	9.90 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							